

報道関係各位

2020年11月17日

株式会社川島織物セルコン

守りたい贈るこころ「福を呼ぶ帛紗(一)」展 開催

会 場: 川島織物文化館

会 期: 2020年11月20日(金) ~ 2021年4月20日(火)

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市左京区 社長:木村弘一)は、本社に併設の川島織物文化館(京都市左京区)で、江戸後期以降の掛帛紗の図案や裂の数々を紹介する「福を呼ぶ帛紗(一)」を開催します。

近年では目にする機会も少なくなった掛帛紗。贈り物やご挨拶の品を持参する際に、広蓋や三方に載せた品を風呂敷で包み、その上に掛けて使用する裂(布)で、江戸時代より慶弔や季節の挨拶などあらゆる贈答に使われていました。

川島織物文化館では、当社が製作したものに加え、研究のためにコレクションしたものなど、帛紗の図案や裂を数多く収蔵しています。吉祥文様をはじめ、舞楽や自然の風景など多くのモチーフがあり、比較的自由に製作され、様々な場面で帛紗が使用されていたことがうかがえます。豪華なラッピングにも劣らない日本独自の贈りものの作法とも言えるのではないのでしょうか。

人との繋がりが制限される現在、相手の気持ちを推し量り「贈る」ということが大切に感じられます。帛紗の文化が、これからも受け継がれていく事を願い、当展示を企画しました。



天鷲絨帛紗「寿老人之図」(コレクション)

守りたい贈るこころ 福を呼ぶ帛紗(一)

【会 期】2020年11月20日(金)~2021年4月20日(火)(予定)

【会 場】川島織物文化館 (<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>)

【休館日】土・日・祝祭日、夏期、年末年始(川島織物セルコン休業日)

【入館料】 無料

※ ご見学は完全事前予約制です。

※ 川島織物文化館は、新型コロナウイルス感染防止のための対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

詳細は [ホームページ](#) をご確認ください。

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン(<https://www.kawashimaselkon.co.jp/>)

報道関係の方から 広報担当 有賀・松本 TEL:075-741-4316

※当リリースは、京都経済記者クラブにお届けし、当社ホームページでも発表しています。

<参考資料>

■主な展示作品■

□江戸時代



左： 緞子地 刺繍 帛紗「熨斗重箱草花」江戸中期頃

右： 縹子地 刺繍 帛紗「蟹気楼」江戸後期頃

(共にコレクション)

□明治・大正時代



左： 紋織 大帛紗 紋図「亀甲に鶴」(表) 川島織物考案部 明治中期

右： 綴織 大帛紗 原画「島台」 神坂雪佳筆 大正期

■川島織物文化館 概要■

1889(明治22)年に二代川島甚兵衛が京都・三条高倉に建てた三階建ての洋館「織物参考館」に始まる国内最古の企業博物館。初代・二代 川島甚兵衛がモノづくりの研究のため世界中から収集した染織品、古書類、製作してきた原画類・試織など、織物に関する貴重な資料を保管しています。

館内では、これらの史資料や当社が手がけてきたプロジェクトにまつわる資料やエピソードを紹介し、織物の魅力や当社のこだわりのモノづくりを紹介しています。



所在地：〒601-1192 京都市左京区静市市原町265 株式会社川島織物セルコン内

T E L：075-741-4120

開館時間：午前10時～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

休館日：土、日、祝祭日、夏期、
年末年始(川島織物セルコン休業日)

入館料：無料

見学予約：見学は事前予約制

見学希望日の前日16時までに電話でお申込み下さい。

(※月曜日ご来館希望の場合は前週金曜日)

ご予約専用TEL:075-741-4323

ホームページ: <https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

アクセス：●地下鉄「国際会館」駅より

・京都バス(50/52系統)「小町寺」下車 徒歩約5分

・タクシー 約10分

●叡山電車 鞍馬線「市原」駅下車 徒歩約7分

●京都駅より タクシーで約40分

■川島織物文化館の運営について

川島織物文化館は、新型コロナウイルス感染防止のため、手洗い・うがい・マスク着用徹底、咳エチケットの実施などの対策を講じた上で、運営をしています。ご不便をおかけいたしますが、ご来館のお客様にもご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

詳細は [ホームページ](#) よりご確認ください。

